

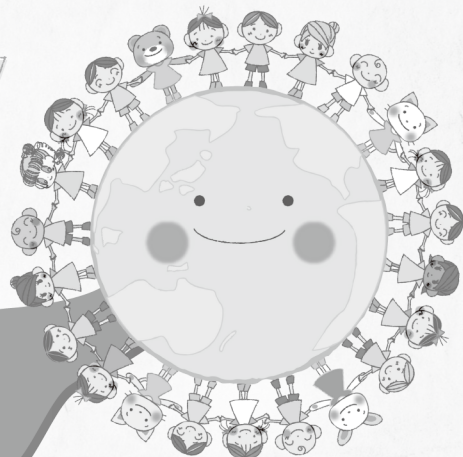
世界中が互いにたすけ合って 「陽気ぐらし」が私たちの願い

人間の身体は、親神様からの「借り物」ですが、心は自由につかうことができます。

天理教の教祖は、我が身勝手に自分中心の心づかいをほこり（埃）と教えられました。埃は知らない間に積もり、小さなものなら簡単にきれいに払うことができますが、積もり重なると、取り除きにくくなるものです。

私たちの心も同じです。心の中にほこりが積もり重なると、心は曇って、本来の明るさを失い、「陽気ぐらし」に向かうことができなくなります。

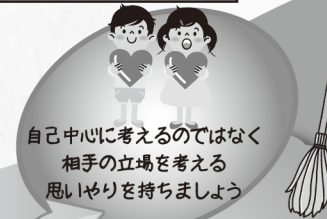
心のほこりを掃除する手がかりとして「八つのほこり」を教えてください。



自分の子供だけを
可愛いがるのではなく、
人の子供さんにも
優しく接しましょう



自分だけが
陽気に暮らすのではなく、
人を勇ませるのが
本当の陽気ぐらしです



自己中心に考えるのではなく
相手の立場を考える
思いやりを持ちましょう



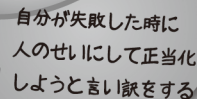
子供が可愛いから
と言って好きなもの
ばかり与える



子供の言いなりになって
好き勝手ままにさせる



自分さえ良ければ
人はどうでもよい



自分が失敗した時に
人のせいにして正当化
しようと言い訳をする

「八つのほこり」

- | | | | |
|-----|------|-----|------|
| をしい | ほしい | にくい | かわい |
| うらみ | はらだち | よく | ごうまん |

かわいとは・・・

自分さえ良ければ人はどうでもよいという心。
我が子が可愛いのは当然の感情ですが、過度の
溺愛・偏愛などは子供に悪影響を与えるほこり
の心づかいです。

自分や、自分の子供だけでなく、相手や人の子供
も同じように思いやり、可愛いがる心が大切です。

TENRIKYO

「 One World One Family 」

世界中の人間は一つの家族 たすけ合って困難を乗り越えよう

新型コロナウイルスは世界中へ広がり、いつどこで感染するか分からない状況になっています。国内では、感染予防に対応した“新しい生活様式”への変化が求められていますが、それだけでなく、私たちの心のありようも変えていく必要があるでしょう。

マスクをつけ、人との距離をとる、手洗いを励行するなどの対策を継続して、ウイルス感染を広げないようにするためには、なによりも人と人がお互いに思いやり、共にたすけ合っていく“優しい心”が欠かせません。

社会的距離を取っても、心の距離は決して遠ざけない。むしろ心の距離が

より一層近づくように、周囲の人を思いやり、温かい言葉をかけ合うことが、コロナ禍を終息へ向かわせる鍵になると私たちは考えています。

世界中の人間は一つの家族です。
“優しい心”でつながり合って、
困難を乗り越えていきましょう。

